

2014年7月9日

音楽情報誌『CD & DLであた』発表。 間もなく夏到来！「夏ソング」ランキング。 ～1位は「あー夏休み」TUBE、2位は「夏色」ゆず～

旬のアーティスト情報を取り扱う音楽情報誌『CD & DLであた』（編集長：松林大介）は、間もなく迎える本格的な夏に向けて、10～60代の男女を対象とした、夏に聴きたい「夏ソング」ランキングを発表します。（調査期間：2014年6月16日～17日）

●あなたが夏に聴きたい「夏ソング」は？ 総合ランキングTOP20

設問：あなたが夏に聴きたい曲はなんですか。

（曲名とアーティスト名、またその理由やエピソードもあわせて教えてください。）

有効回答者数 n=3565 人

	曲名	アーティスト名
1	あー夏休み	TUBE
2	夏色	ゆず
3	少年時代	井上陽水
4	真夏の果実	サザンオールスターズ
5	シーズン・イン・ザ・サン	TUBE
6	TSUNAMI	サザンオールスターズ
7	夏祭り	Whiteberry
8	勝手にシンドバッド	サザンオールスターズ
9	夏が来る	大黒摩季
10	夏の思い出	ケツメイシ
11	SUMMER DREAM	TUBE
12	チャコの海岸物語	サザンオールスターズ
12	夏の日の1993	class
12	夏休み	吉田拓郎
15	夏の思い出	(童謡・唱歌)
16	いとしのエリー	サザンオールスターズ
17	ミュージック・アワー	ポルノグラフィティ
18	夏祭り	JITTERIN' JINN
19	花火	aiko
19	波乗りジョニー	桑田佳祐

【今回の調査結果について】

梅雨が明けたら、いよいよ夏到来です。

夏休み、海、山、花火大会、夏祭りなど、夏はイベントが盛りだくさん。同様に、夏をテーマとした曲も満載のシーズンです。

『CD&DLで一た』では、10～60代の男女を対象とした、夏に聴きたい「夏ソング」のランキングを発表します。

総合ランキング TOP20では、きっと誰でも知っているのでは、という「夏ソング」がズラリと並ぶ結果となりました。総合ランキング1位は「あー夏休み」(TUBE)、2位は「夏色」(ゆず)ですが、これらの曲を含め、ランクインした曲はどれも“夏と言えばこれ!”、“夏を感じる”、“夏の思い出”といったコメントが多く寄せられました。男女・世代別で多少順位の入れ替わりはあるものの、「夏ソング」の定番としてイメージが共有されていることが伺えます。

また今回、楽曲単位での人気「夏ソング」が共有されているだけでなく、“夏ソングが似合うアーティスト”というカテゴリがしっかりとできあがっていることも、あらためて感じました。

先ほどの総合ランキングを TOP30まで見てみると、TUBE の楽曲が5曲、サザンオールスターズ(桑田佳祐のソロ曲含む)の楽曲が7曲ランクインしています。さらにもう少しランキングを広げると、山下達郎も複数の「夏」楽曲をランクインさせています。

世代別のランキングを見ると、その世代ならではの傾向が見て取れます。

総合ランキング TOP3では、1位の「あー夏休み」(TUBE)は30～40代、2位「夏色」(ゆず)は10～30代、3位「少年時代」(井上陽水)は50～60代の得票が多い結果となりました。

さらに世代別の詳細を見ていくと、10代では“夏にぴったり、アップテンポで盛り上がる”という「SUMMER SONG」(YUI)や、「777～We can sing a song!～」(AAA)が上位にランクイン。

20代では「夏の思い出」(ケツメイシ)ほか、「花火」(aiko)が TOP10内に入ってきています。

また、「夏の日の 1993」(class)は、当時学生だった30～40代にとって、“当時の彼氏・彼女と聴いた思い出の曲”であることが多いようです。

「世界でいちばん熱い夏」(プリンセスプリンセス)は、40代でのみ TOP10内にランクイン。

50～60代の“青春時代の思い出の曲”として、「夏休み」(吉田拓郎)が上位に挙がってきているほか、“尾瀬への憧れとともに、小さいころから何度も聴いた”という「夏の思い出」(童謡・唱歌)や、「思い出の渚」(ザ・ワイルドワンズ)といった曲が、主に60代からの支持を集めています。

どの曲にも、夏のさまざまなシーンが楽曲に封じ込められています。

そして、それぞれの曲に、たくさんの人たちの“夏の思い出”が結びついています。

今年の夏は、聴いたことがない「夏ソング」をいろいろチェックしてみたいかでしょうか？

これから始まる夏の思い出とともに、あらたな音楽体験が広がるかもしれません・・・！！

【調査概要】

調査対象：自社で運営する eb-i の20万人のパネルを基に、全国47都道府県の10歳から69歳までのエンタメ接触ユーザーを抽出し、3565人(男性 1970人、女性 1595人)から回答を得た。

調査手法：インターネットによるWeb調査

調査期間：2014年6月16日～17日

【eb-iとは】

『eb-i (enterbrain insight)』は、株式会社KADOKAWA エンターブレイン ブランドカンパニーが2013年1月より週単位で継続して行っている、エンターテインメント分野の消費動向調査です。保有している全国20万パネルから週次で1万超を回収し、エンターテインメント分野の実態を調査・分析しています。

【『CD&DLで一た』について】

創刊27年目となる、“音楽がもっと好きになる”音楽情報誌(奇数月14日発売)。J-POPを中心としたアーティストのロングインタビューやコラムなど、様々なコンテンツを取り扱っています。



7月14日発売の『CD&DLで一た』8月号では、6人編成になって最初のアルバムを完成させたUVERworldを1stカバーに迎えデビューからの歩みを振り返ります。そして2ndカバーには人気アニメ映画の主題歌を歌うSCANDALが登場。

そのほかに全都道府県を回ったツアーを振り返るAcid Black Cherry、ベストアルバムをリリースする阿部真央と高橋優の対談、松井玲奈(SKE48・乃木坂46)×ベイビーレイズのコラボ記事など、他では読むことのできない記事が満載！さらに「気になるニューフェイス」をまとめて紹介するコーナーではJERRYモデルのizu(出岡美咲)やチャラン・ポ・ランタンなどを特集。木根尚登(TM NETWORK)や矢島舞美(℃C-ute)のロングインタビューのほか、tetsuya(L'Arc~en~Ciel)、西川貴教、黒沢薫(ゴスペラーズ)豪華連載陣も掲載した、読み応えたっぷりの一冊です。

特別定価：990円

付録：UVERworld + SCANDALポスター

『CD&DLで一た』8月号カバー